

6/20
朝日

「脱原発」国家目標に

韓国大統領 福島第一事故が転機

韓国の文在寅大統領は19日、韓国の原発で初めて廃炉が決定した古里原発1号機（釜山市）の稼働停止を記念する式典で演説し、「古里原発1号機の永久停止は、脱核国家への第一歩だ」と述べた。韓国大統領が「脱原発」を国家目標に掲げるのは初めて。ただ、

韓国はエネルギー源の22%（2016年現在）を原発に依存しており、実行は容易ではない。

文氏は「原発は開発途上国だった時期に選択したエネルギー」と述べ、経済水準が向上した今、国民の生命と安全が最重要だというのが社会的合意だと指摘。「原

発中心の発展政策を廃棄し、脱核時代へ進んでいく」と宣言した。11年の福島原発事故が大きな転機になったとした。

文氏は「準備中の新規原発の建設計画は全面白紙にする」と明言し、老朽化した原発の設計寿命も延ばさないとした。朴槿恵前政権は、エネルギー源に原発が占める割合を約30%まで増やす政策のもと、現在25基の原発を大幅に増設する計画を進めたが、見直されることになった。（ソウル＝武田肇）